「初職に就いた時期」に係る調査事項について

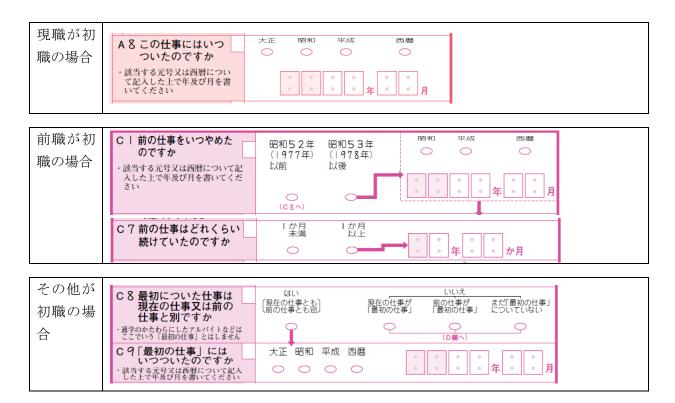
「初職」は、平成19 年就業構造基本調査で新規に把握された調査項目であり、「初職と現職等との関係」(C8)、「初職に就いた時期」(C9)、「初職の従業上の地位・雇用形態」(C10)の3項目から成る。

結果表章上の「初職に就いた時期」は、 $(C8 \sim C10)$ 以外の既存の調査項目も組み合わせて集計された事項である。

○「初職に就いた時期」の作成方法

「初職と現職等との関係」(C8)によって、「現職が初職」、「前職が初職」、「現職又は前職とは別(以下、その他が初職)」の3者に分かれるが、作成方法は、3者で異なる。

- 「現職が初職」の場合、「就業開始時期」(A8)の年月をそのまま利用。
- ・ 「前職が初職」の場合、「前職の離職時期」(C1)から「継続就業期間」(C7)を差し引くことで、初職についた年月を算出。
- ・ 「その他が初職」の場合、「初職についた時期」(C9)の年月をそのまま利用。



○ 平成 14 年調査との相違点

『現職の「就業開始時期」(A8)』、『前職の「離職時期」及び「継続就業期間」(C1、C7)』の設問自体は変わらないものの、C8の追加によって、初職か否かが判明するようになった点が異なる。